

# ストリートとしてのデジタル空間における集合的創造性

## ——ショート動画における「科目三」の表現と拡散——

○魏婷 (WEI TING)

**Keywords** : 科目三、ショート動画、身体表現、集合的創造性、参加型文化

1 目的 : 本研究は、デジタル空間における集合的創造性について考察する。その際、中国発のショート動画文化の一つである「科目三」というダンス動画を例として取り上げる。そして、そのダンス表現に注目し、それがいかに地域的・文化的差異を映し出すメディアとして機能しているのかを考察する。

上記の目的のため、まず「科目三」のダンス動画の視覚的・身体的特徴、模倣や変形のプロセス、そして拡散の様式に焦点をあてる。そして、抖音 (Douyin) など国内版プラットフォームと、TikTokをはじめとする海外版プラットフォームにおける動画の表現方法や文脈の違いに注目し、それぞれの文化的背景やユーザー参加のスタイルに関して、比較分析を行う。

2 方法 : ①動画収集・選定方法 : 抖音 (Douyin) と TikTok の両方から「科目三」に関連するショート動画を収集 (例:それぞれ 30 本ずつ)。検索キーワードやハッシュタグ (例:「科目三」「kemu3」「Shehui yao」など) を用いて、再生数・いいね数などの指標から代表的な動画を選定。

②特徴のコード化による分析 : ダンスの振付、身体表現、衣装、音楽、演出スタイル (BGM の使い方、カメラワーク、字幕など) をに関して、模倣や変形、創造の傾向をコード化して分析。

③プラットフォーム比較 : Douyin と TikTok のインターフェースや投稿文化、利用者層、コメントの傾向なども含めて比較。動画の編集スタイルやコメント欄の反応、人気の背景にある文化的文脈の違いを考察。

3 結果 (想定) : ①ダンスの表現における違い : 抖音では「地域性」や「郷土的なノリ」が強調されている。TikTok では、エンタメ性やコミカルな演出が加わり、グローバルにアレンジされている。②拡散の仕方 : 抖音では模倣や「挑戦系」動画が多く、ハッシュタグ文化を通じて拡散。TikTok では音楽や編集との組み合わせで「ミーム化」し、文脈が変わって拡散される。③創造性の側面 : 一人の創始者によるスタイルが、複数のユーザーにより模倣・変形・再創造されており、集合的創造性の典型といえる。

4 結論 (想定) : 抖音 (Douyin) と TikTok における「科目三」ダンス動画の比較分析を通じて、このコンテンツがデジタル空間における集合的創造性を示す事例であることが明らかになった。また、「科目三」は地域的・文化的な差異を映し出すメディアとしても機能しており、プラットフォームごとの文化的背景やユーザーの参加スタイルの違いが顕著に現れている。このことから、「科目三」は、現代のネット空間における身体表現と集合的創造の多様性を象徴する現象であると結論づけられる。

### 【主要参考文献】

Jenkins, H., 2006=2021, *Convergence Culture: Where Old and New Media Collide*, New York University Press. (渡部宏樹、北村紗衣、阿部康人訳『コンヴァージェンス・カルチャー ファンとメディアがつくる参加型文化』(晶文社))

Jenkins, H. Ito, M. boyd, d., 2015, *Participatory Culture in a Networked Era: A Conversation on Youth, Learning, Commerce, and Politics*, Polity.

松田素二, 2021, 『集合的創造性—コンヴィヴィアルな人間学のために』世界思想社.